

第16回建設業経理士検定試験 1級財務分析

【第1問】 解答にあたっては、指定した字数以内（句読点を含む）で記入すること。

名 称	指 数 法	10	20	25
説 明	指数法とは、標準状態にあるものの指数が100を上回るか否かにより、企業の総合評価を行う方法をいう。なお、ウォールによって提案された方法であることから、ウォール指数法ともいう。指数法による総合評価では、選択した比率の値が大きければ良好、小さければ不良と判断されるように工夫する必要がある点に注意しなければならない。なお、指数法により企業の総合評価が明確に示され、標準比率との比較により企業間比較が容易となるが、比率の選択やウェイトの付け方に恣意性が介入するおそれがあり、その場合適切な評価はできなくなる。			

名 称	象 形 法	10	20	25
説 明	象形法とは、人間の顔や樹木等の図形により、視覚的に企業の総合評価を行う方法であり、図形化による総合評価方法である。図形化による総合評価方法とは、選択した複数の指標を何らかの図形によって示すことにより、視覚的に企業の総合評価を行う方法をいう。なお、象形法には、人間の顔の図形、すなわちうれしいときの表情や悲しいときの表情等により、視覚的に企業の総合評価を行うフェイス分析法や、樹木の図形、すなわち大きさや枝の張り具合、幹の太さ等により視覚的に企業の総合評価を行うツリー分析法がある。			

【第2問】

記号（ア～ヘ）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ウ	シ	カ	オ	エ	ヘ	ア	タ	ナ	ト	キ	ク

【第3問】

(A)

8	6	4	6	0
---	---	---	---	---

 百万円（百万円未満を切り捨て）

(B)

2	9	0	0	0
---	---	---	---	---

 百万円（同 上）

(C)

6	9	0	0	0
---	---	---	---	---

 百万円（同 上）

(D)

7	2	0	0	0
---	---	---	---	---

 百万円（同 上）

未 成 工 事 収 支 比 率

1	0	2	2	6
---	---	---	---	---

 % （小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入）

第16回建設業経理士検定試験 1級財務分析

〔第4問〕

問1

3	4	7	5
---	---	---	---

 % (小数点以下第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

問2 ￥

1	7	2	6	6
---	---	---	---	---

 (円未満を切り捨て)

問3

2	4	1	5	1
---	---	---	---	---

 % (小数点以下第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

問4

8	8	2	5
---	---	---	---

 % (同上)

〔第5問〕

問1

A 経営資本営業利益率

0	3	0
---	---	---

 % (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

B 自己資本当期純利益率

1	7	9
---	---	---

 % (同上)

C 自己資本事業利益率

4	7	5
---	---	---

 % (同上)

D 流動比率

1	2	2	7	0
---	---	---	---	---

 % (同上)

E 立替工事高比率

2	7	4	6
---	---	---	---

 % (同上)

F 現金預金手持月数

1	1	4
---	---	---

 月 (同上)

G 固定比率

1	4	1	8	9
---	---	---	---	---

 % (同上)

H 配当性向

9	4	0	2
---	---	---	---

 % (同上)

I 支払勘定回転率

3	4	6
---	---	---

 回 (同上)

J 資本集約度

1	0	7
---	---	---

 千円 (千円未満切り捨て)

問2

記号 (ア～ム)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ア	ニ	ハ	カ	サ	コ	セ	タ	シ	ヘ